

朝日新聞 > 記事

減らない下水流量、救助妨げ 県も苦慮「解消法探る」 道路陥没事故

有料記事

黒田壮吉 中村瞬 浅田朋範 2025年2月7日 8時40分



陥没地点の水位を下げるための下水道管のバイパス
=2025年2月5日午後8時29分、埼玉県八潮市、永沼仁撮影



埼玉県 八潮市 で県道交差点が陥没し、転落したトラックの運転手が安否不明になっている事故で、下水道管内にあふれる水が本格的な救助活動の妨げになっている。県は流れる下水の量を減らそうと様々な策を講じているが、期待したほどの結果は得られていない。

県は6日、陥没地点の手前で汚水を下流に逃がすバイパスの設置を進めた。事故現場の上流にあるマンホールで汚水をポンプでくみ上げ、地上の約700メートルの管を通して、下流のマンホールから流すものだ。ただ、流せる水の量は毎分4立方メートルと、下水道管を

流れる水量の一部にとどまるという。

県は5日、ドローン 調査で下水道管内（直径4・75メートル）にあるトラックの運転席部分とみられるものを発見。陥没現場の100～200メートル下流付近にあり、一部は水面から出ている状態だった。6日にも調査を続け、上流側ではがれきなどの堆積（たいせき）物が下水道管をふさぎ、すき間から汚水が噴出しているのも確認したという。

堆積物 より上流の下水道管は汚水を満たされており、破損箇所からは穴の中へあふれ出してもいるとみられる。汚水がたまっている影響で、下水道管内の 硫化水素 の濃度も高くなっている。県によると、速い水流や土砂、硫化水素の濃度の問題があり、人が近づける状況ではないという。

救助活動難航 「最初から手詰まり感」

この記事は **有料記事** です。残り1158文字 有料会員になると続きをお読みいただけます。

今すぐ登録（1カ月間無料）

ログインする

※無料期間中に解約した場合、料金はかかりません

この記事を書いた人

浅田朋範

さいたま総局 | 事件担当

+ フォロー

専門・関心分野

多文化共生、貧困、裁判

注目の連載記事 →

もっと見る

いつも、どこかで
「誰もあなたに興味ないよ」
母が残してくれた言葉には続きがあった



孤独死する現役世代
就職氷河期世代で進む二極化
孤立のリスク、次の世代にも
続く可能性



ルミネが挑む新しいショッピング体験

アジアから世界へ！ルミネの未来展望

農家と農業を守る「助け合いの輪」

小山薫堂氏が被災地の再建を語り合う

CTCが描く未来技術ロードマップとは

エンジニアが語る、社会課題解決と技術

高校生への「がん出張授業」を開催

正しい知識で身近な病気と向き合う

なぜ270年も愛され続けるのか

ジュネーブ発の高級時計、技と美の秘密

全国に広がる歯科訪問診療の担い手不足

日本歯科大が描く歯科医院の未来とは？

アクセスランキング →

もっと見る

読まれています

昨日のトップ5

- 死ぬ、デブ…言われても我慢、積もる無力感 知られざる刑務官の苦悩
- 「審理尽くされていない」手術後わいせつ事件で有罪破棄、最高裁
- 日テレ「イッテQ」番組内容変更の理由を公表「今後も放送しない」
- ある42歳の死…無職、独身、両親の他界 誰にも引き取られない遺骨
- 神奈川知事「せめてもの50万円」高校授業料無償化で所得制限緩和

ソーシャルランキング →

もっと見る

フェイスブック

はてなブックマーク

- 「神様から選ばれたとトランプ大統領は確信」 石破首相、何度も称賛 504 |
- 【随時更新】トランプ氏が大統領令に続々署名 一目で分かる政策一覧 334 |
- 対米投資150兆円に引き上げ 首脳会談、石破氏がトランプ氏に表明 215 |

Facebook

X

注目コンテンツ

ご案内

【&Travel】

優雅な所作

永瀬正敏が撮った京都



【&w】

<PR> 鈴木愛理さんと語る